

【接触者健診マニュアル及び菌検査事業部会報告 1】

東京都結核接触者健診マニュアル第四版改定について

1 改定の目的

東京都結核接触者健診マニュアルは、平成 20 年 9 月に作成し、その後一部改訂を含め 4 回に渡る改訂を行ってまいりました。

令和 4 年 1 月に国の「感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き（改訂第 6 版）」が改訂され LTBI の治療や管理方法、IGRA の検査キットの変更や使用指針、菌株確保と分子疫学調査などが盛り込まれました。今回、東京都結核接触者健診マニュアル改訂第四版においても、これらの最新の知見を踏まえ、東京都の実情に合わせたマニュアルの改訂を行いました。

2 マニュアルの構成

- ・本マニュアルは、現行と変わらず、本編と付録からなります。
- ・本編は、3 部構成になっており、1 章は目的や法的根拠、2 章は接触者健診の概要、3 章は集団感染事例での対応という構成になっております。
- ・付録は、接触者健診で使用できる実用性の高いものを中心に掲載しております。

3 主な変更点

- ・「インターフェロン γ 遊離試験使用指針 2021」の内容を踏まえ IGRA とツ反の併用（同時実施）は 2 歳未満の乳幼児等に限定するといった IGRA の適用方法に関する改訂を行いました。
- ・東京都接触者健診マニュアル第四版では、LTBI の対象までの記載にとどめ治療レジメンの追加及び治療後の管理方法については、同時改訂の「東京都潜在性結核感染症マネジメントガイド」に記載しました。
- ・菌株確保について追記しました。
- ・分子疫学調査手法の活用を積極的に図ること、新規の資料として VNTR 検査による分子疫学調査の意義を記載しました。